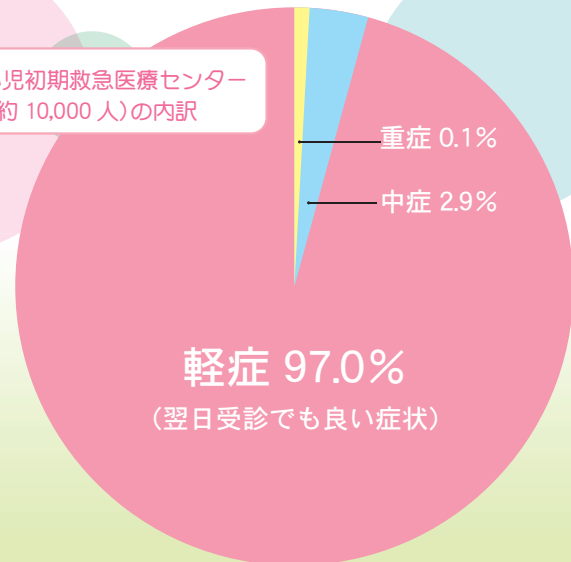




小児救急

～上手なかかり方～

令和3年度小児初期救急医療センター
受診者(約10,000人)の内訳



山梨県内における乳幼児の年間医療費は約60億円となっています。このお金にはみなさんの保険料と税金が使われています。

軽症で、緊急性がないのに受診する人が増えています。小児初期救急医療センターは、翌日かかりつけ医を受診するまでの間のお子様の生命を守るために、応急の診察と治療を行う施設です。その日を安全に過ごしていただくために必要な診療のみを行っています。病気が治癒するために必要な検査や治療は、かかりつけ医をお願いします。

お子様の身体の調子が悪い時や、成長や発達で心配なことがある場合は、かかりつけの家庭医で診察を受け、必要に応じて病気の診断のための検査や治療を受けていただくのが最善の方法です。しかし、夜間や休日に急に具合が悪くなり、どうしたら良いのか困ってしまうこともあるかもしれません。普段からかかりつけ医に急病の際の対応策を覚えてもらっておくことがとても大切です。

受診の前には、次の方法によりぜひご確認・ご相談をお願いします。

発熱・けいれん・せき・ぜんそく・下痢・嘔吐・腹痛等の症状の時

- ①症状をよく観察し、経過を記録する。
- ②「こども救急ガイドブック」を利用する。
- ③日本小児科学会ホームページ「こどもの救急」を参考にする。



「こども救急
ガイドブック」



日本小児科学会
ホームページ
「こどもの救急」



大丈夫な様子なら通常診療
時間にかかりつけ医へ受診

or

判断がつかない場合

or

受診が必要と判断した場合

TEL

②「小児救急電話相談」を利用する。

小児に精通した看護師が、急な病気に関する相談を行っています。

※慢性疾患や育児相談など、急を要しない相談はご遠慮ください。
※電話での助言であり、診断、治療はできませんので、あらかじめご了承ください。
※話し中の場合は、恐れ入りますが、少し時間をおいてから、おかけ直してください。

携帯電話・プッシュ回線から	#8000
ダイヤル回線から	055-226-3369
平日	午後7時～翌朝7時
土曜日	午後3時～翌朝7時
日曜日(祝日)	午前9時～翌朝7時

TEL

③「小児初期救急医療センター」を利用する。

休日・夜間の急病時に小児科専門医が対応します。

※予約の必要はありませんが、症状によっては初期救急では対応できない場合もありますので、あらかじめ電話で確認してください。
※急病時の応急処置を行うためのもので、確定診断はできません。
翌朝、または休日明けに必ずかかりつけ医を受診してください。
※薬の処方1日分となります。

甲府センター	診療時間	富士・東部センター
■平日夜間(毎日) 午後7時～翌朝7時 ■土曜日 午後3時～翌朝7時 ■休日(日曜、祝日、年末年始 12/29～1/3) 午前9時～翌朝7時		■平日夜間(毎日) 午後8時～深夜0時 (受付/午後7時30分～午後11時30分) ■土曜日 午後3時～深夜0時 (受付/午後2時30分～午後11時30分) ■休日(日曜、祝日、年末年始 12/29～1/3) 午前9時～深夜0時 (受付/午前8時30分～午後11時30分)
甲府市幸町14-6 甲府市地域医療センター内 055-226-3399	場 所 連絡先	富士吉田市緑ヶ丘2丁目7-21 富士北麓 総合医療センター 2F 0555-24-9977

頭部打撲・やけど・誤飲・骨折等の症状の時

※外科的疾患は小児初期救急医療センターでは対応できません。

- ①「こども救急ガイドブック」を利用する。
- ②日本小児科学会ホームページ「こどもの救急」を参考にする。
- ③受診が必要な場合は、地域ごとに受診医療機関が異なるため、下記に問い合わせる。

対象：甲府市・中央市・昭和町・甲斐市(旧双葉町除く)の在住の方

▶▶ 甲府市医師会救急医療センター **055-226-3399**

対象：上記の地区以外の在住の方

▶▶ 山梨県救急医療情報センター **055-224-4199**

こんな症状の時

119番に
電話して!

- ・意識が戻らない
- ・激しい痛みが続いている
(頭痛、腹痛、胸痛)
- ・けいれんが5分以上止まらない
- ・出血が激しく止まらない
- ・苦しそうな呼吸をしている

